オレンジリボンたすきリレー２０１９ ｉｎ ＮＩＩＧＡＴＡ

活動報告

1．オレンジリボンたすきリレーのご紹介

◎オレンジリボンたすきリレーとは
子ども虐待防止の象徴である「オレンジリボン」をたすきに仕立て、これを身に着けて走り、リレーすることで、皆の心を一つにすれば大きな力になることを証明し、「子ども虐待防止」を市民の皆さまへ呼びかけその実現を目指し、2007年から始めた啓発活動です。

※参考URL：http://orange-tasuki.net/
(オレンジリボンたすきリレー全国ネットワークHP)

～新潟県で初めての開催～

ORANGE RIBBON IN NIIGATA

２．今年の開催結果

◎参加総数
１５８名（２７チーム）

◎開催日
２０１９年１１月３日（日・祝）

◎タイムスケジュール

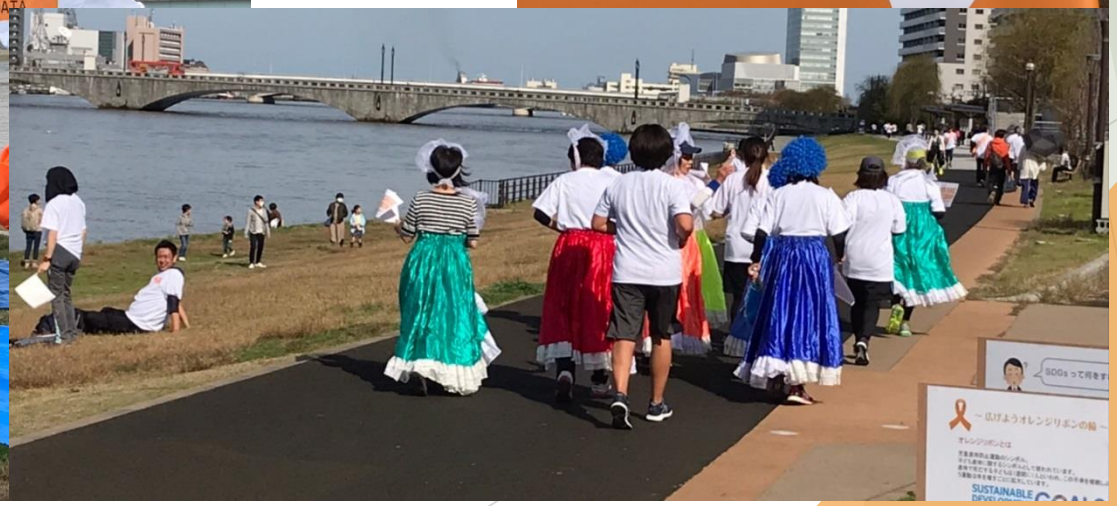
受　付	８：００～
開会式	８：４０～
デモラン	８：５０～
スタート	９：００～
ゴール	１２：００～
閉会式	１２：３０～

3．開催の様子①

3．開催の様子②

命を大切に!
子どもは宝
大切に育てよう

ミンナのココロをツナグ
ORANGE RIBBON
子ども虐待防止
オレンジリボン
たすきリレー
in NIIGATA
折り返し地点


SDGsって何ですか
～広げようオレンジリボンの輪～
オレンジリボンとは

3．開催の様子③

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2019 JCI JAPAN 少年少女国連大使
SDGsアクション in 新潟
協力：野崎印刷株式会社

3．開催の様子④

ミンナのココロをツナグ
ORANGE RIBBON IN NIIGATA
子ども虐待防止
オレンジリボン
たすきリレー
in NIIGATA
協賛
マルシン食品(株)
コカコーラ
イーストジャパン(株)

ORANGE RIBBON
子ども虐待防止
オレンジリボン
たすきリレー
in NIIGATA

3．開催の様子⑤

長岡市の無職高木喜一さ

子ども虐待防止 たすきに託して

新潟中央区 150人疾走

本県でも増加傾向にある子どもへの虐待の防止を呼び掛ける「オレンジリボンたすきリレー」が3日、新潟市中央区の信濃川右岸やすらぎ堤で行われた。秋晴れの下、参加者らは児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン」に見立てたたすきを掛けて、汗を流した＝写真＝。

たすきリレーは全国で開かれているが、本県では初めて。県内の個人や企業でつくる「にいがた元気プロジェクト」が実行委員会形式で主催し、25チーム約150人が参加した。

参加チームは1周1200㍍のコースの目標周回数をスタート前に設定し、たすきをつなぎながら3時間走った。沿道からの「頑張れ」「いいペース」という声援に、走者は笑顔で応えていた。参加した東区の団体職員、石崎昂一さん(64)は「子どもの虐待を無くしたいという思いを共有できた」と充実感をにじませた。